

令和8年1月9日

保護者の皆様へ

大阪市立墨江丘中学校
校長 進藤 文代
(担当 木下 祐介)

生きる力をくれる映画『有り、触れた、未来』の上映会について

寒中の候、保護者の皆様には益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。この度、大阪市教育委員会の事業である、《がんばる先生支援事業》の一環として、『有り、触れた、未来』の上映会を開催させていただくことになりました。この映画はこれまで2年間、宮城県から本校にお越しいただき、防災や命の大切さを伝えていただいている、元石巻西高校校長の齋藤幸男先生の著書が原案となり、令和5年3月に全国上映されました。今回自主上映会として、生徒・保護者・地域の皆様に鑑賞していただく機会を作らせていただきました。命と向き合い懸命に生きる人々の姿を群像劇で描くヒューマンドラマで、映画を通じて「命の尊さ」「日常への感謝」を話し合い、感じ、「生きる力」を広める思いでこれまで上映会を重ねてこられました。年末にもチラシを配布させていただきましたが、一人でも多くの皆様にご覧になっていただきたいと考えております。お忙しい時期ではございますが、趣旨をご理解いただき、上映会へお越しいただきますよう、よろしくお願い致します。

- 日時 令和8年1月24日（土）
12:30開場 13:00開演 15:15終演
終演後、ゲスト2名によるアフタートーク（16:00終了予定）
- 場所 住吉区民センター小ホール
- ゲスト 齋藤幸男先生（元宮城県石巻西高校校長、映画原案）
舞木ひと美さん（舞台俳優・プロデューサー）
- 入場料 無料（右のQRコードからお申し込みください） →



・有り、触れた、未来（山本透監督、令和5年3月10日公開）

東日本大震災から10年後の宮城県を舞台に命と向き合う人びとの物語を描いたドラマ。震災の語り部として、全国で講演活動をしている齋藤幸男の著書「生かされて生きる震災を語り継ぐ」から発想を得たオリジナルストーリーが描かれる。

10年前に大きな自然災害に見舞われた、とある町に暮らすさまざまな人びと。交通事故で恋人を亡くした元バンドマンの女性。娘の結婚式への出席を願う末期ガンの女性。将来に不安を感じながらも「魂の物語」を演じ続ける若い舞台俳優たち。自然災害により家族を亡くし、前を向くことができない中学生の少女と悲しみから酒浸りの日々を送る父親。そんな2人を支える年老いた祖母、少女の親友と担任教師。すべての登場人物は命と向き合う問題を抱えていた。それぞれの物語が複雑に折り重なり、人びとの人生が交錯する。

映画上映会チラシ



有り、触れた、未来 ホームページ

